

緑化だより

No.112 平成27年12月号



ナナミノキ

- 緑化センターの希少な樹木(20)
- 野鳥の世界(トラフズク)
- 病虫害の話
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

うさぎ 巧子の 木

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



緑化センターの希少な樹木

No. 20 センペルセコイアとメタセコイア

センペルセコイアは世界に現存する木本類の中では樹高が一、二を争うことで有名で、100mを超えるものが知られています。きわめて成長が速いので庭木には適しません。公園樹として利用されます。別名はイチイモドキ、セコイア、セコイアメスギです。日本には江戸時代末にはじめて渡来し、明治中期以降に入ったものが各地で栽培されており見事に生育しています。セコイア属はセンペルセコイア一種からなり、属名はアメリカインディアンの酋長セクオイヤーの名前からきているようです。葉はラクウショウを常緑にした印象で、常緑樹にしては薄く、先に触れても痛くはありません。樹木見本園の中にあり、緑化センターの中でもセイヨウヤマナラシと樹高で一、二を争います。



センペルセコイア

メタセコイアは国内で化石として発見されています。数千年前の白亜紀～古第三期に栄え、のちに絶滅したメタセコイア属の一種として1941年に発表されました。その数年後、中国西部の揚子江支流の山村で自生している個体が発見され「生きている化石」として発表され有名になりました。針葉樹では少数派の落葉樹で、秋に赤褐色に紅葉し、一枚一枚の葉が落葉するのではなく側枝ごと落葉します。アケボノスギとも呼ばれ、高さが35m、胸高直径が2～3mにもなる落葉高木です。樹木見本園などにあります。(川上)



メタセコイア

野鳥の世界

トラフズク

ミミズクは頭上にのびた羽毛をもつ種類の呼称で、頭上の羽毛を持たない種をフクロウと言います。ミミズクの仲間は8～9種が確認されています。

トラフズクは胸から腹にかけて黒い縦斑と、交差した細い横斑があることからトラ模様に見立てられ名付けられました。眼は橙色で驚いたときは大きく真ん丸に見開き注視しますが、普段は半目で昼寝しているように見えます。昼間休んでいるときも羽角を立てて警戒し、眼は閉じているようでも半目にして周囲を見えています。静かに横枝にとまっている姿は林にとけこんで、見過ごして



トラフズク

しまいます。トラフズクは冬の渡りで、シベリア、中国東北部、アムール川に合流するウスリーで繁殖し、極寒の季節に南方の暖かくて餌の多い地方に飛来して冬を過ごします。広くて川辺林の茂ったようなところでは集合して休む習性があり、2〜3羽が集まって昼を過ごしています。カラス、テンから身を守るためと考えられます。中国地方へも少数が飛来し広々とした耕作地、河川敷の疎林や高い樹木の密生した枝の中で昼間を過ごし、夜になると地上のネズミ、モグラなどの小動物や昆虫を採食しているようです。(吉見)

病虫害の話

カイガラムシの利用

植物に害を及ぼすカイガラムシですが、この仲間は古代より私たちの生活の中で幅広く利用されています。

“**タマカイガラムシ**”の一種から得られる濃紫色の色素カーミンは紀元前から用いられ、古代ローマ時代では征服した国々からの献上物となっていたようです。

中南米のサボテンに生息している“**コチニールカイガラムシ**”はコチニール(えんじ虫)と言われ、これから採られる色素は赤や紫の色素原料として、インカ帝国の時代から衣服の染色に使われています。

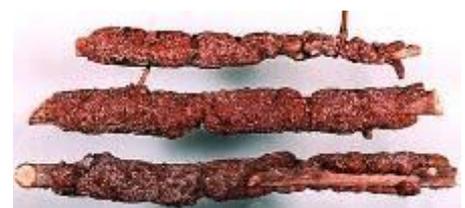
現在も赤や紫の色素原料として、清涼飲料水やかまぼこなどの食品の着色料のほか、口紅や絵の具、織物の染色などに使用されています。

“**ラックカイガラムシ**”は、中国では約1500年前から漢方薬として用いられ、正倉院の宝物の中にも「紫鉾」の名で薬物として保存されています。塗料のラッカーの語源となっている赤や臙脂(えんじ)色染料の原料(ラックダイ)は、現在もインド・東南アジアで養殖されています。又、衣装の染色や化粧品の原料、チョコレートのコーティング剤に使用されているほか、プラスチックができるまではSPレコードの材料としても使用されました。

“**イボタロウムシ**”の幼虫が分泌した蠟を精製したものは「イボタロウ」又は「白蠟」と呼ばれ、中国四川省などで養殖されています。ロウソクや工芸・美術品のつやだし、精密機械用のワックス、医薬品(止血剤)、印刷用インクなどに利用されています。(山根)



コチニールカイガラム(キリヤ化学H.Pより)



ラック樹脂(キリヤ化学H.Pより)



イボタロウムシ

(日本原色カイガラムシ図鑑より)

研修会のご案内

- 12月6日(日)『クリスマスリース作り』
自然素材使ってリースを作ろう
※ 定員に達したためキャンセル待ちです。
10:00~12:00 学習室 集合
講師: 森林インストラクター
長井 稔
- 12月10日(木)『写真コンクール公開審査』
写真コンクールの公開審査と全応募作品の講評
10:00~12:00 学習室 集合
講師: 二科会会員
宗岡 泰昭
- 12月23日(水・祝)『ミニ門松作り』
正月飾り作りを体験しよう
※ 要予約(先着10名) 材料費1,000円
10:00~12:00 学習室 集合
講師: 三良坂竹工房指導員
諫早 良雄
- 12月26日(土)『しめ縄作り』
オリジナルのしめ縄でお正月を迎えよう
※ 定員に達したためキャンセル待ちです。
10:00~12:00 学習室 集合
講師: 小河内わら工芸会
- 1月7日(木)『春の七草教室』
間違えると危ない七草に良く似た植物について学びます
※ 要予約(先着30名)、無料
10:00~12:00 学習室 集合
講師: 緑花文化士
横山 直江

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・つづらふじ手作りカゴ作品展

～1月11日(火)

・バードカービング作品展

1月14日(木)～3月21日(月)

(ボード展示)

・緑化センター写真コンクール 応募作品展

12月13日(日)～1月27日(水)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

○「ヤマコウバシ」のお守り

管理事務所にて、

合格祈願のお守りを差し上げます(1人1枚・無料)

○1・2月号は合併号となります。

- 12月の休園日は月曜日、
及び12月29日(火)～1月4日(月)です。



つづらふじ手作りカゴ作品展



前回のバードカービング作品展より